

さっぽろ 銭湯 ゆめぐり

第3回

のれんをくぐると受付のアイドル「愛玲(あいり)ちゃん」が、「いらっしゃいませ!」のおじぎで可愛く迎えてくれる。北区北31条の奥の湯は、昭和40年の創業以来この場所で50年以上続く昔ながらの銭湯です。3代目当主古名智亮さんの、1歳3ヶ月になる娘さん愛玲ちゃんも、時折フロントに立ち、おじぎでお客様をお迎えしたり入浴券を受け取ったり、お店をお手伝いしています。

長時代に培った経営のノウハウを生かしてやってみようと、3代目奥の湯が始まりました。まずテコいれたのは、番台。昔ながらの銭湯の象徴とも言える番台を、現在のフロント形式に改修しました。若い女性の中には、着替えが番台から見えてしまうことに抵抗のある方は少なくありません。昔ながらの良さは残しつつ、時代に合わせ変化していく。同じように、ホームページも制作し、ネットで検索してもらえようにしました。その甲斐あって、最近はネットで見つけてきてくれたというお客様もあり、現在はサイトのスマホ対応も作業中です。

お風呂の特徴は、まず脱衣場がとても広いこと。湯上がりにもそのまま顔なじみとゆったり語りうことのできるスペースです。そして男性の脱衣場にはけん玉が、女性の脱衣場には黒ひげ危機一髪など色々なおもちゃが。これは、子連れのお客様がゆつくりできるような、そして来てくれたお子様が奥の湯を楽しんでもらえるように、昔から続けている心づかいです。綺麗な床も印象的で、これは内装業を営む古名さんのお父さんの協力を得て手作業で一新したものの。前述のフロントも古名さんとお父さんの手作りだというから驚きです。お風呂は、場内の真ん中に広々と

メインの浴槽が二つ。腰まですっぽり浸かる深風呂は、ちよっと熱めの42度設定。深さがもたらす浮力が、疲れた背中や太ももの筋肉をやわらかくほぐしてくれます。新しいことに取り組みつつも、昔ながらの魅力を守り続ける奥の湯。今も、40年以上通り続けてくれるお客様がいるように、初代も先代も古名さんも、奥の湯が変わらず大切にしてきたのはやはり、常連さんとおつきあいです。地域密着で、いつも常連さんの声に耳を傾け、そしてまた新たな常連さんをつくっていく。なじみの方はもちろん、初めて奥の湯を知ったという人も、ぜひ足を運んでみてください。



真ん中に広々と、変わり湯のジェットバスと高温の深風呂。



脱衣場にはおもちゃがいっぱい!

昨年のれんを降ろした同じ北区の錦湯から譲り受けたお釜ドライバー。

奥の湯のアイドル愛玲ちゃん!



愛玲ちゃんに会えるのを楽しみに来られるお客様もいる。

三代目当主 古名智亮さん

DATA

住所 札幌市北区北31条西3丁目4-15

TEL 011-726-1813

営業時間 14:45~22:45
(水曜日は13:00から営業)

定休日 金曜

駐車場有

入浴料金 (平成29年4月1日現在) 大人/440円(12歳以上中学生以上) 中人/140円(12歳未満小学生) 小人/70円(6歳未満末就学児)